

令和5年度



# かしわ

柏原小学校だより 第5号

令和5年9月1日

児童数 485人

◎ 「笑顔」 なかよく かんがえ たくましく

## よさを発揮し 笑顔で楽しい2学期に

42日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。長い間、静かだった校舎には元気な声が響き、明るい笑顔の子供たちが学校に戻ってきました。この休みをご家族と過ごし、豊かな体験ができたからでしょうか。始業式に参加する子供たちの姿がひと回り遅くなった感じがしました。夏休み中も、保護者、地域の皆様には、子供たちを温かく見守っていただき有難うございました。お陰様で、皆で元気に新学期を迎えられたことを何よりも嬉しく思います。

今年は、コロナ対応が一段落してから初めての夏休み、久々に“夏らしい夏”になりました。4年ぶりに、多くの人たちが思う存分、スポーツや音楽、観光などを楽しむ姿を見て、改めて日常生活が戻ってきたことを実感できました。きっと、子供たちも同じように、大いに夏休みを楽しむことができたのではないかと思います。

さて、本校の正門（柏原公民館側）前に、一体の石像があることをご存じでしょうか。これは、二宮金次郎（尊徳）像。集めた薪を背負い、読書に勤しむ少年期の金次郎の姿を表現しています。この像の台座には、「勤儉力行（きんけんりっこう：よく働き、つつましい生活をし、何事にも精一杯努力すること）」の文字が刻まれています。

天明7年（1787年）、相模国（さがみのくに：神奈川県小田原市）の農家に生まれた二宮金次郎は、江戸時代末期に、関東から南東北の農村復興に尽力した人物です。天災により、自分の家の田畑が荒れ、16歳で両親を亡くすなど、様々な不幸に見舞われますが、逆境にもめげることなく努力し続けます。朝の暗いうちから夜遅くまで、懸命に働き、時間に余裕ができれば寸暇を惜しんで勉強に励みました。その努力の甲斐があって、家の再興を果たした金次郎は、その優れた発想と実践力が小田原藩主に認められ、六百もの農村を復興するなど、多くの人々の暮らしを豊かにしました。

「積小為大（せきしょういだい）」、数々の偉業を成し遂げた二宮金次郎が残したこの言葉には“小さい事が積み重なって、大きな事になる。だから、大きな事を成し遂げようとするなら小さい事をおろそかにしてはいけない”という、「努力の大切さ」が込められています。

2学期は、学校の1年間で最も長く、運動や学習、生活や行事にじっくり取り組める、絶好の時期です。そして、この78日間には運動会や風の子まつりを始めとした行事など、子供たちが楽しみにしている活動が、数多くあります。この機会を生かし、一人一人が目標に向かって努力を重ね、さらに成長してほしいと願っています。今学期も柏っ子がよさを発揮し、楽しく笑顔で学校生活が過ごせるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。2学期も、皆さまの温かいご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。



## ふれあい除草について

夏休みが明け、柏っ子の元気な姿が学校に戻ってきました。  
柏っ子がいない学校は寂しく、子供たちの元気な姿を見るととても嬉しいです。  
さて、今夏も猛暑が続きました。校庭を見渡しますと、多くの雑草が校庭一面を覆ってしまっています。そのためふれあい除草を9月8日(金)8:40~9:20に行います。  
詳細は7月19日付け文書をご確認ください。保護者の皆様のご協力を  
どうぞよろしくお願いいたします。



## “何事にも頑張る力”を育むために

この夏、以前読んだ「体力向上に関する指導者の役割-コロナ禍でも大切な子供の運動-(岐阜大学 教授 春日晃章)」というコラムを読み直してみました。

おおまかな内容として、

「コロナ禍が続く現在、教育界で強く危惧されていることが、子供たちの身体活動不足からくる体力の低下や身体の発達不全である。昨年度(令和2年度)、約2か月間の休校になった後に、ある小学校で緊急的に体力テストを実施したところ、大きな体力低下が見受けられた。特に中・高学年の50m走では、1年前の自分たちの平均値よりも劣る結果が出た。1年前より身長などの体格は大きくなっているにも関わらず、学年平均で足が遅くなるということは、発育発達学的に見て通常では考えられない結果である。コロナ感染のリスクを防ぐため、本来、成長のために必要な刺激や経験が欠如し、子供たちは心身の発達が遅延、減退するというリスクを抱えているという現実を周りの大人は考慮する必要がある。運動の得意な子も苦手な子も楽しみながら運動を行うことが大切である。多くの仲間と群れながら活発に遊ぶという行為の繰り返し、身体だけでなく、脳や心を発達させ、“何事にも頑張る力”を育てていく。」  
というものです。

(NITS 独立行政法人教職員支援機構 令和3年度 NITS ニュース第174号)

長い夏休みを終え、今日から2学期が始まります。コロナが5類移行となり行動制限がなくなりましたが、今夏は猛暑続きでなかなか外に出て活動することが少なかったのではないのでしょうか。また今日から柏っ子が多くの仲間とともに「群れながら活発に遊んで(学んで)」、何事にも頑張る力を育てて欲しいと思います。

## 夏休み後の学校が始まって、不安や悩みがあるときは・・・

夏休み後の学校が始まって、不安や悩み、困ったことや嫌なことがあるかもしれません。そんなときは家族や先生、友達、学校のスクールカウンセラー、誰でもよいので悩みを話してみてください。相談窓口一覧は下記 URL からご覧になれます。(文部科学省 子供の SOS 相談窓口)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm)

## 教職員も学んでいます！

夏季休業中でも教職員は校内以外での研修にそれぞれ分担して参加しています。そこで学んだことを校内で伝達し、柏っ子のために指導力向上を図っています。



校内体育実技伝達講習会



小中一貫教育合同研修会



不審者対応研修会

## 運動会の徒競走の走順の決め方について

低学年・中学年・高学年それぞれ子供たちの身体能力等を考慮して、

1・2年生は「名簿番号順(男女混合)」

3・4年生は「くじびき(男女別)」

5・6年生は「タイム順(男女別)」

とします。ご承知おきいただきますようよろしくお願いいたします。

